

令和4年度 町政執行方針

「安心・充実・未来への投資」

平成23年11月に町長に就任してからこれまで、町民の皆様や関係団体の温かいご支援並びに議員の皆様のご指導のもと、「みんなの心つながる、笑顔と安心のまち」そして第6次総合計画に定める将来像「共に築く希望の未来しあわせ感じる元気まち」を基本姿勢として、多くの課題解決に取り組んでまいりました。

今なお、新型コロナウイルス感染症が収束していない現状の中では、不安要素が多く、混沌とする社会において、閉塞感に押しつぶされそうになります。しかしながら、どんな状況であろうと、関係する方々としっかりと向き合い、お互いの信頼を高め、「人と人との繋がり」を大切にしながら「ふるさと白老」をしっかりと次の世代へと引き継いでいく、その決意をもって、令和4年度も全力でまちづくりに取り組んでまいります。



戸田安彦町長

町政に臨む基本姿勢

新型コロナウイルス感染症対策、インフラ整備、施設の長寿命化及び適正配置の三つの重点事項を柱としてまちづくりを進めます。

1. コロナに負けない安心して暮らせるまちづくり

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組み、町民の皆様の生命・財産を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

新型コロナウイルス感染症への対応においては、現在、ワクチンの3回目接種を進めており、昨年12月に医療従事者等の接種を皮切りに18歳から64歳以下の一般対象者についても、国の方針を踏まえながら接種期間を6カ月間隔に短縮し、早期にワクチン接種を終える目標をもって進めてまいります。

町民生活と経済活動への支援においては、新型コロナウイルスの感染拡大が地域経済に与えた影響は大きく、依然として厳しい状況が続いております。また、長期的な影響も考慮し、令和3年度に実施をしたプレミアム商品券発行事業や事業者経営支援事業などこれまでに実施してきた事業を検証し、国や北海道の施策を見据えながら、引き続き町民生活の安定化と地域経済の立て直しを図ってまいります。

今後も感染予防の啓発や発生状況など、最新の情報を発信するとともに、関係機関と連携を図りながら、感染予防対策に万全を期してまいります。